

# めぐニュース

かぐめよし少年自然の家だより 令和 7 年 10 月発行

先日、新聞で、火星に生物の痕跡らしきものが見つかったと報じられていた。ウェルズの小説「宇宙戦争」を読んだ日のことが懐かしく思い出された。挿絵に載っていたのは、蛸のような火星人だった。流石にそのような火星人がいるとは、今はもう思わないが、太陽系内の惑星に生命がいた（若しくはいる）かもしれないという可能性に、心が沸き立つ思いがする。

この記事により、もう一つ思い出されたのが、平尾台の石灰岩のことだ。3 億年以上前に、サンゴなどの生物の死骸が厚く海底に堆積したものが、プレート移動により運ばれ、その後、マグマの熱で溶け固まったものだ。正しくは、結晶質石灰岩、大理石とも呼ばれるものだ。当然完全に溶けてしまったものには、サンゴなどの化石の痕跡は残らない。この中にもしかしたら、マグマの熱で完全に溶けきらなかったもの、熱変成から免れたものが残っていないだろうか、探し回ったことがある。3 億年前に降り積もって今は、カチコチの岩となった中から、可能性がほとんどない生物の痕跡を探した日々が、地球から遠く離れた火星の岩石の中に、生物の痕跡かもしれないリン酸鉄や鉄硫化物が見つかったことにより思い出されたのだ。

今、手元に一冊の本がある。「平尾台の石灰洞」という日本洞窟協会により昭和 57 年に発行されたものだ。この中に市丸の結晶質石灰岩の中に、古生代の単体サンゴの化石が産出（1935 年）されたという記述がある。最近知人からこの本のことを知らされたばかりである。

現在、平尾台の石灰岩は大々的に採掘されているが、その前は、頂吉で採掘をしていたらしい。その後、平尾台の石灰岩の方が品質が良いとのことで、頂吉での採掘は取り止めたとのことである。あまり知られていないが、頂吉の山中に、今も人知れず羊のような岩が、静かに鎮座している。



## 主催事業のお知らせ

## 11月～1月

| 市政だより<br>掲載号 | 事業名                   | 日程                      | 対象者・人数        |
|--------------|-----------------------|-------------------------|---------------|
| 10/15号       | 秋の福智山登山「リンドウ<br>を見よう」 | 11月16日（日）               | 小・中学生と保護者 20人 |
| 11/1号        | クリスマスリース作り            | 12月7日（日）                | 小・中学生と保護者 20人 |
| 11/15号       | ぺったんぺったんお餅つき          | 12月13日（土）～<br>12月14日（日） | 小・中学生と保護者 15人 |
| 12/15号       | 放置竹林対策事業              | 1月25日（日）                | 大人（18歳以上）10人  |

応募は市政だよりをご覧になり、お申し込みください。

# 頂吉凶鑑

～第41回～

## 葛（クズ）

今回ご紹介するのは、葛（クズ）です。秋の七草の一つでもあります。春の七草に比べて、秋の七草は、全部覚えていないという人が多いようです。

山上憶良が、「秋の野に咲きたる花を 指折り かき数ふれば 七種(ななくさ)の花」「萩の花 尾花 葛花 瞿麦(なでしこ)の花 女郎花(おみなえし) また藤袴 朝貌(あさがお)の花」と詠んだ歌が万葉集にあり、これが由来といわれています。



花を知らないという人も、フェンスに巻き付いている様子をご覧になったことがあるはずです。また、根からは良質のデンプンがとれ葛粉として有名です。頂吉でも、腕よりも太いクズのカズラが川沿いにありましたが、猪が増えたせいでしょうか、今は、大きなものは見かけなくなりました。大きなクズの根は、太さが大人の太ももほどで長さは数メートル、計ったことはありませんが、30kg以上にもなります。以前、山芋を掘っている最中に、大きなクズの根に地中で出くわし何度、大変な目にあったことか・・・

クズという名の由来は、国栖（クズ）という地名からのようです。奈良の吉野川の上流に良質の葛（クズ）かとれるところがあると評判になり、そのまま地名が、植物の名として知られるようになったそうです。

日本でも、このクズは繁殖力が強く問題になっていますが、アメリカでは侵略的外来種として猛威を振るっています。

温暖化による影響なのか分かりませんが、今年はクズの花がよく目立ちます。ダム沿いの道脇が、葛の花びらで赤紫に染まっています。雨上がりに道を染めるほどのクズの花に、山上憶良も目を奪われたのでしょうか。



### 北九州市立かぐめよし少年自然の家

住所：〒803-0267

北九州市小倉南区大字頂吉451-1

電話：(093)451-3111 FAX：(093)451-3133



Facebook



Instagram





# 主催事業報告



## 水環境体感キャンプ事前研修会

7月5日(土)～6日(日)に水環境体感キャンプの事前研修会を行いました。団員14人の顔合わせから始まり、班分けやテント設営を学びました。その後ウエットスーツやライフジャケット、沢靴といった装備品を確認し、着脱の練習もしました。翌日には早速沢歩きを練習し、危険箇所や注意事項を予習できました。本番を約1ヶ月後に控え、気持ちを盛り上げることができたと思います。元気に本番を迎えられることを願っています。



## 水環境体感キャンプ

8月2日(土)～5日(火)いよいよ水環境体感キャンプのスタートです。



団員14名全員元気に紫川の中流の桜橋を出発しました。今年は梅雨明けが例年より早く雨が少なかったせいか、川の石に苔が生えて滑りやすくなっていました。それでも団員は弱音を吐くことなく、大きなけがや病気もなく助け合って全員紫川の源流部にゴールできました。川の生き物や植物に触れたり自分たちで食事を作ったり、宿泊地を移動してテントでの3泊4日。最後には卒団試験まであり、盛りだくさんのスケジュールをこなした団員。きっと実のりある大冒険になったのではないのでしょうか。



## 第3回かぐめよし自然少年団



ミンミンゼミの声がかぐめよしに響き渡る中、8月30～31日の1泊2日で開催しました。活動は、1日目には、かぐめよしダムでカヌーを行い、2日目は、北九州のシンボルである「紫川」の源流部で生き物調査を行いました。特に生き物調査では、各班ごとに水温21℃の中、浅瀬、深場、早瀬など様々な場所で、網や箱メガネで生き物を採集しました。採れた生き物の中には、指標生物になっているサワガニ、ヘビトンボの幼虫、カゲロウ類などや、魚類のヨシノボリ類、ヌマチチブと色んな生き物が採集できて、団員達は改めて、紫川のこの環境を守っていきたいと感じていました。



## 家族でキャンプだホイ！

♪キャンプだホ～イ！キャンプだホ～イ！キャンプだホイホイホイ！♪マイク真木さんのキャンプソングがタイトルのこの事業では、キャンプ初心者の方の7家族が集まり様々なアウトドアライフを体験しました。天候は初日がいにくの雨でしたが、自分たちで熾した火で調理した料理を、自分たちで作った竹の



器で食べ、夜はキャンドルの集いを楽しみました。火の守や女神役の子どもたちは、初めての衣装に大喜びでした。

2日目には天候も回復し、みんなが楽しみにしていた本物の川体験。全身に冷たい水を浴び、かぐめよしの自然を満喫していました。

## 第2回観天望気学習キャンプ

彼岸花のシーズンも終わり、朝夕は涼しくなってきた10月11～12日、7人が集まり「第2回観天望気学習キャンプ」を開催しました。



頂吉ダム堰堤までフィールドワークをしながら、季節の植物や雲の観察をしたり、実験を通して天気のことを学びました。夜はワクワクのソロテント泊。鹿の鳴き声を聞きながら夜がふけていきました。2日目もみんなでフィールドワークをしました。湿度と気温の数値と肌感覚の違いを体感しました。

これをきっかけに、もっと天気のことに関心を持ってくれたらいいですね。

## 紫川だれでもカヌー

今回で第24回を迎えた「紫川だれでもカヌー」を10月13日に開催しました。暑さ対策として例年より開催時期を遅らせたものの、暑い中での活動となりました。

カヌー初体験の方々も、リピーターの方々も、夢中で楽しんでいる様子がうかがえました。今年もサップが登場し、中にはサップから紫川に飛び込んだ方もいらっしゃいました。また、生き物採集のグループも夢中になって活動していました。活動後は美味しいカレーを食べ、お



かわりをする人が続出しました。その後は復活したビンゴ大会が開催され、大いに盛り上がりました。